※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	１単位	年次	２年次（後期）
使用教科書	政治・経済（数研出版）						
副教材等	政治・経済整理ノート(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の「公共」での学習を踏まえて、２年の「政治経済」では政治分野を中心に学習します。選挙権年齢が 18 歳になった現在では、「私は、政治には興味がない」というような態度はもはや許されません。国や地方公共団体における政治だけでなく、学校を含めて社会のあらゆる場面でいわゆる「政治的な活動」は行われています。また、政治と経済のいずれにも共通することですが、「18 歳成人」についても、現実の社会に興味・関心を持って、社会の中で積極的に人に関わりながら行動することが重要です。

単に整理ノートの空欄を補充してテストを受けるだけなら、教科書を読めば十分です。授業中のさまざまな話の中から、実際に社会人となってから求められるような良識や感性を身につけるようにしてください。そのためには、学校の授業だけではなく、普段の日常生活における体験や、新聞やテレビのニュース、インターネットでの検索、読書などからどれだけ多くの情報を得て、当事者意識を持って考えているのかがポイントになります。どのような進路に進んでも、社会生活を営む限り政治と経済には生涯に渡って関わっていくことになります。そのつもりで学習してください。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治に関する基本的な事項や本質、特質および動向を捉える基本的な概念などの知識を身につける。 現実に行われている政治の仕組みを理解し、その問題点を把握する。	現代の政治にかかわる事柄から課題を見出して、その本質や特質、望ましい解決の在り方について多面的・高久的に考察する。 社会の変化や様々な立場、考え方をふまえて公正に判断できるように、その過程や結果について自分なりの方法で適切に表現している。	現代の政治に対する興味・関心を高め、自ら意欲的にさまざまな政治的な問題について考察する。 国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進に向けて努力する態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期（中間考査まで）	基本原理	第1章　現代の政治 第1節　民主政治の基本原理と展開 ・民主政治とその基本原理 ・民主政治の展開 ・政治体制の比較	a：民主政治の歴史的歩みについての知識を整理して、民主政治の基本原理を理解する。 c：世界各国で行われている民主政治に対する興味・関心を高める。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワークなど
	日本国憲法・人権	第2節　日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の基本的性格 ・基本的人権の保障 ・日本国憲法の平和主義	a：平和主義の変遷を理解する。 b：将来の国民投票を意識して、憲法改正の問題について考察する。 c：日本国憲法については、できるだけ身近な事例と関連付けて、条文の文言に興味・関心をもつ。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワークなど
後期（期末考査まで）	政治機構	第3節　日本の政治機構 ・国会のしくみと役割 ・内閣と行政機構 ・裁判所のしくみと人権保障 ・地方自治のしくみと住民生活	a：国会・内閣・裁判所の抑制と均衡の仕組みを理解する。 c：「地方自治は民主主義の学校」を実践して、地方自治にも目を向ける。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワークなど
	政治への参加	第4節　政治参加と民主政治の課題 ・戦後政治と政党 ・選挙制度のしくみ ・世論と情報化社会	a：戦後政治と政党の知識から、現代の選挙制度の仕組みを理解する。 b：まもなく有権者になることをふまえ、関心を高めて政治参加の準備をする。 c：政治情勢に関する情報に積極的に接し、メディア・リテラシーを高める。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループワークなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度